



お祝いの言葉

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2009-08-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 福原, 行三 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/1174

お祝いの言葉

大阪府立大学教授，村上義弘先生は，昭和62年5月21日をもってめでたく還暦を迎えられることになりました。ここに謹んでお慶び申し上げます。

先生は，昭和29年京都大学法学部をご卒業後，同大学大学院法学研究科にお進みになり，同博士課程退学後昭和31年7月，本学経済学部助手として着任され，その後，講師，助教授を経て，昭和46年11月，教授に就任され，今日まで30年余の長年月にわたり，本学における教育，研究に従事してこられました。その間，入試制度委員，入試運営委員，補導委員，外国人留学生委員，国際交流委員，学内の環境・施設等の整備に関する諸委員会の委員をはじめ大学の多くの仕事にもたずさわってこられ，本学のために顕著な功績を残されております。

先生が大変ご研究熱心な方であることは，衆目の認めるところであります。ほとんど毎日夜遅くまで研究室に残ってご研究されておられます。先生の優れた数多くの研究業績は，このような日ごろのご研究のなかから生まれております。先生のご研究領域は，一般に広く知られている国家賠償法の分野にとどまらず，行政事件訴訟法，地方自治法，税法にまで及び，その著作も，著書，論説，判例評釈，翻訳と多彩であります。また，国家法人説を基礎とする伝統的国家観，およびそれに基づく伝統的行政法理論に対する批判的立場からの先生の著作は，学界のみならず司法実務界においても高い評価を受けるとともに，それらに大きな影響を与えているところであります。

また，先生は，後進の指導にもご熱心で，関西行政法研究会，関西地方自治研究会ならびに関西アメリカ公法研究会の指導的メンバーとして活躍されておられます。また本学の体育系クラブ，日本拳法の顧問を務められるなど，学生

の指導にもご熱心であります。

近時、大学の国際交流が常識となっておりますが、先生は早くからその必要性を自覚され、折にふれて交流の糸口をつかんではその推進につとめていくという積極的な姿勢を貫いてこられました。そして、外国からの留学生のお世話なども学内外にわたって熱心に手がけてこられたのであります。

このたび、先生の還暦の慶賀を迎えるにあたり、ここに記念論文集を捧げ、心からお祝い申し上げますとともに、先生の今後の一層のご健勝とご活躍をお祈りし、あわせて後進への変わらないご指導をお願いするものであります。

昭和62年 5 月

大阪府立大学経済学部長

福 原 行 三